

## 令和元年度学校保健統計調査速報（青森県分）

### 1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

### 2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施）。

期日 学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、平成31年4月1日から6月30日までの間に実施。

### 3 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部（抽出調査）。

なお、調査実施学校（園）数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区 分	学校 (園) 総数	児童等 総数	調査実施学 校(園)数	発育状態調査		健康状態調査	
				調査対象者(人)	抽出率(%)	調査対象者(人)	抽出率(%)
幼稚園	321	5,632	34	829	14.7%	883	15.7%
小学校	282	56,885	58	5,499	9.7%	19,983	35.1%
中学校	160	31,052	39	4,585	14.8%	13,110	42.2%
高等学校	76	33,653	27	2,427	7.2%	16,918	50.3%
計	839	127,222	158	13,340	10.5%	50,894	40.0%

注1:発育状態調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

注2:学校（園）総数及び児童等総数は平成31年度学校基本調査（青森県分）による。

注3:幼稚園の児童等総数は「5歳児」のみの人数である。

### 4 調査事項

(1) 児童等の発育状態（身長及び体重）

(2) 児童等の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、裸眼視力、眼の疾病・異常、難聴、耳鼻咽喉頭疾患、皮膚疾患、結核に関する検診、結核、心電図異常、心臓、蛋白検出、尿糖検出、その他の疾病・異常、歯・口腔、永久歯のう歯等数）

#### 《利用上の注意》

- (1) この速報は、文部科学省がまとめた「令和元年度学校保健統計調査速報」の一部（青森県分）を要約したものであり、後日、「令和元年度学校保健統計調査報告書」として文部科学省が公表する数値が確定値となる。
- (2) 年齢は、平成31年4月1日現在の満年齢である。
- (3) 統計表の中の記号  
「－」 該当者がいない場合  
「…」 調査対象とならなかった場合  
「0.00」 計数が単位未満の場合
- (4) 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

# 令和元年度学校保健統計調査結果の概要

## 1 発育状態

### (1) 身長

- ・男子は全年齢で全国平均を上回り、女子は17歳を除いた年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では13歳の1.5cm、女子では10歳の1.6cmとなっている。
- ・男子は6歳、7歳、女子は5歳、8歳、11歳、13歳で全国第1位となっている。
- ・年間発育量をみると、男子は12歳から13歳時に7.9cm、女子は9歳から10歳時に7.0cmが最大となっている。

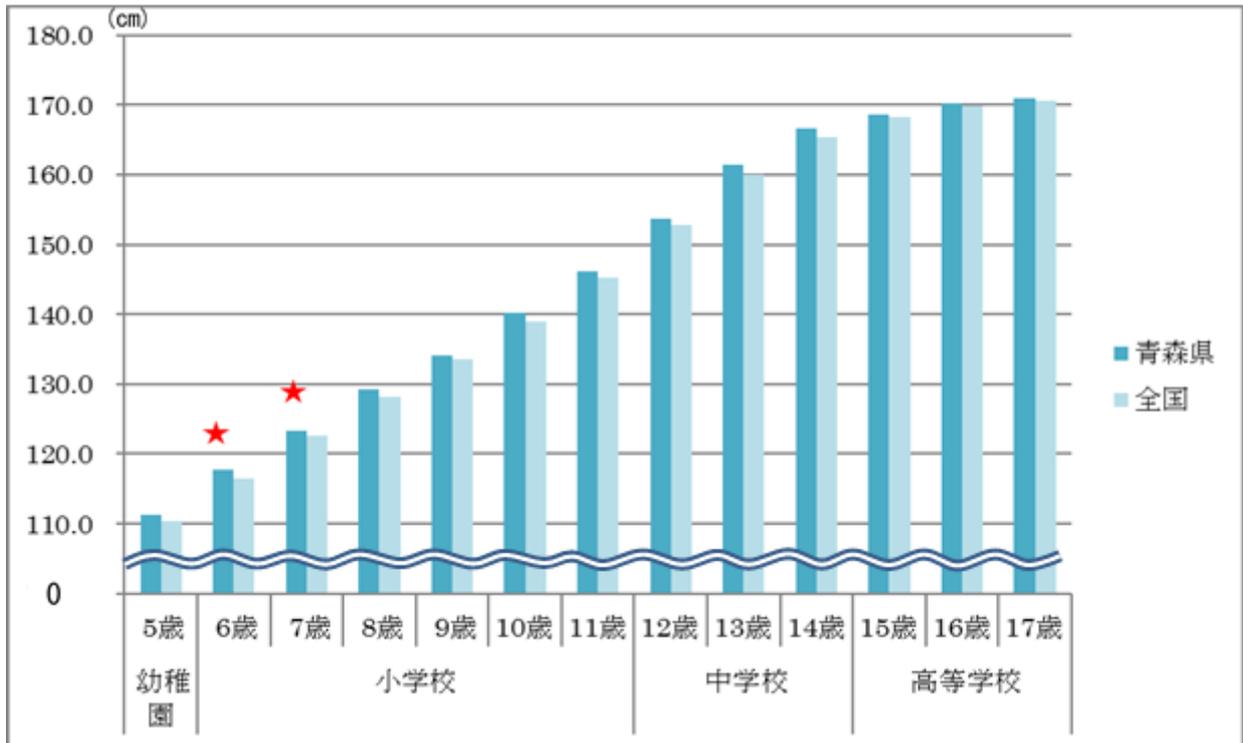
表1 身長の平均値

区分	年齢	身長 (cm)									
		青森県での調査人数	令和元年度 (青森県) A	平成30年度 (青森県) B	昨年度との差 A-B	年間発育量	令和年度 (全国) C	全国との差 A-C	令和元年度 青森県 順位	30年度 青森県 順位	
男	幼稚園	5歳	419	111.2	111.3	-0.1	—	110.3	0.9	4	2
		小学校	6歳	452	117.8	116.9	0.9	6.5	116.5	1.3	1
	7歳		461	123.4	123.3	0.1	6.5	122.6	0.8	1	2
	8歳		457	129.2	128.9	0.3	5.9	128.1	1.1	2	4
	9歳		457	134.2	134.7	-0.5	5.3	133.5	0.7	4	1
	10歳		462	140.2	140.4	-0.2	5.5	139.0	1.2	2	1
	11歳		462	146.2	146.6	-0.4	5.8	145.2	1.0	4	3
	中学校	12歳	764	153.7	153.6	0.1	7.1	152.8	0.9	5	4
		13歳	774	161.5	161.3	0.2	7.9	160.0	1.5	2	2
		14歳	771	166.7	166.5	0.2	5.4	165.4	1.3	2	2
	高等学校	15歳	405	168.7	169.3	-0.6	2.2	168.3	0.4	10	2
		16歳	405	170.3	170.4	-0.1	1.0	169.9	0.4	7	3
		17歳	405	171.0	171.7	-0.7	0.6	170.6	0.4	10	1
女	幼稚園	5歳	410	110.6	110.4	0.2	—	109.4	1.2	1	2
		小学校	6歳	455	116.5	116.8	-0.3	6.1	115.6	0.9	2
	7歳		460	122.4	122.7	-0.3	5.6	121.4	1.0	2	2
	8歳		453	128.8	128.7	0.1	6.1	127.3	1.5	1	2
	9歳		463	134.6	134.8	-0.2	5.9	133.4	1.2	2	2
	10歳		455	141.8	142.0	-0.2	7.0	140.2	1.6	2	1
	11歳		462	147.8	148.1	-0.3	5.8	146.6	1.2	1	1
	中学校	12歳	762	152.8	152.7	0.1	4.7	151.9	0.9	2	3
		13歳	752	155.7	155.7	0.0	3.0	154.8	0.9	1	3
		14歳	762	156.8	156.7	0.1	1.1	156.5	0.3	11	11
	高等学校	15歳	405	157.6	157.5	0.1	0.9	157.2	0.4	8	9
		16歳	405	158.5	158.1	0.4	1.0	157.7	0.8	2	4
		17歳	402	157.8	158.3	-0.5	-0.3	157.9	-0.1	22	5

(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の5.8cmは、146.2cm (令和元年度の11歳の数値) - 140.4cm (平成30年度の10歳の数値) で求められる。

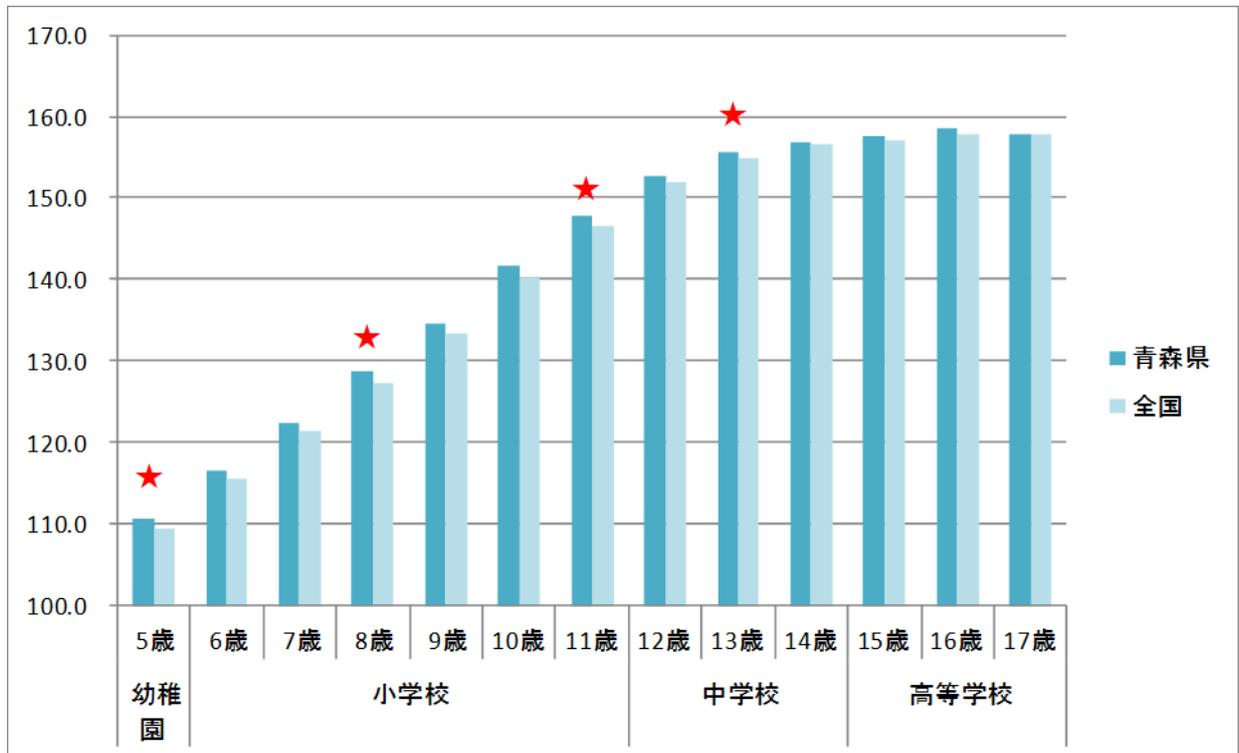
グラフ1 身長の平均値

〈男〉



★：全国1位

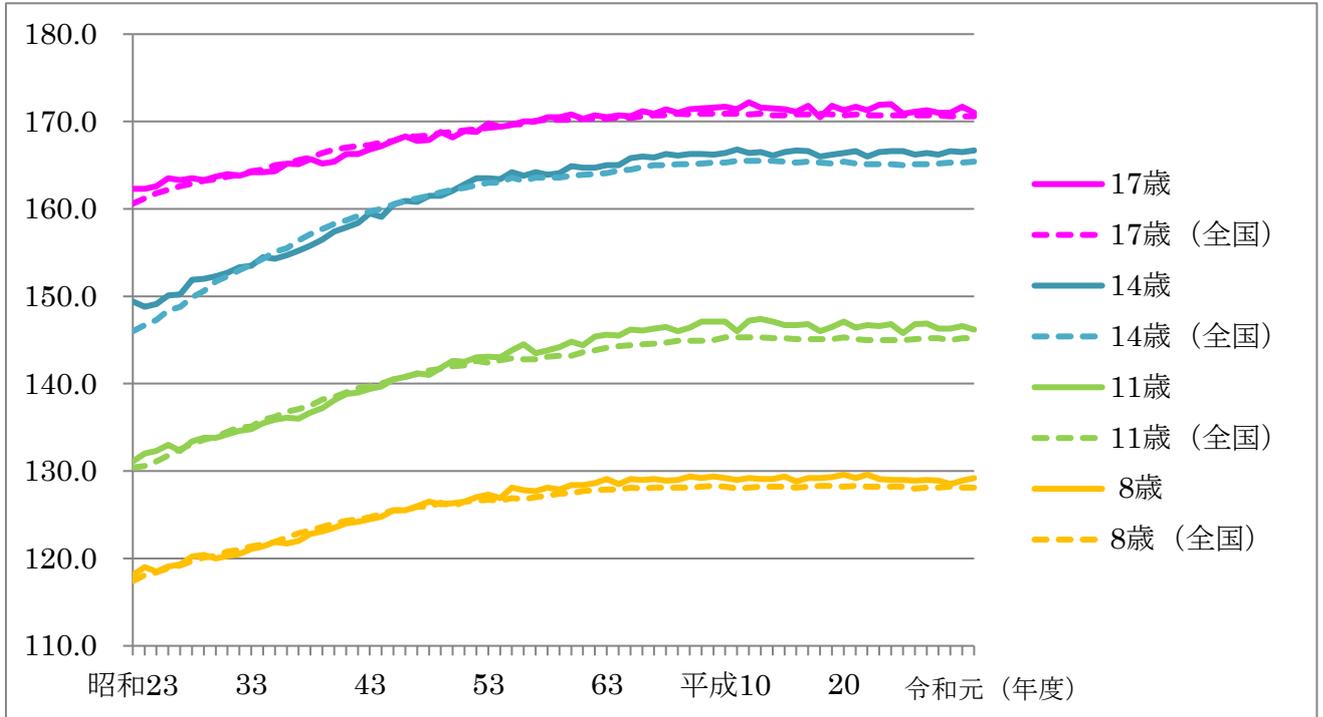
〈女〉



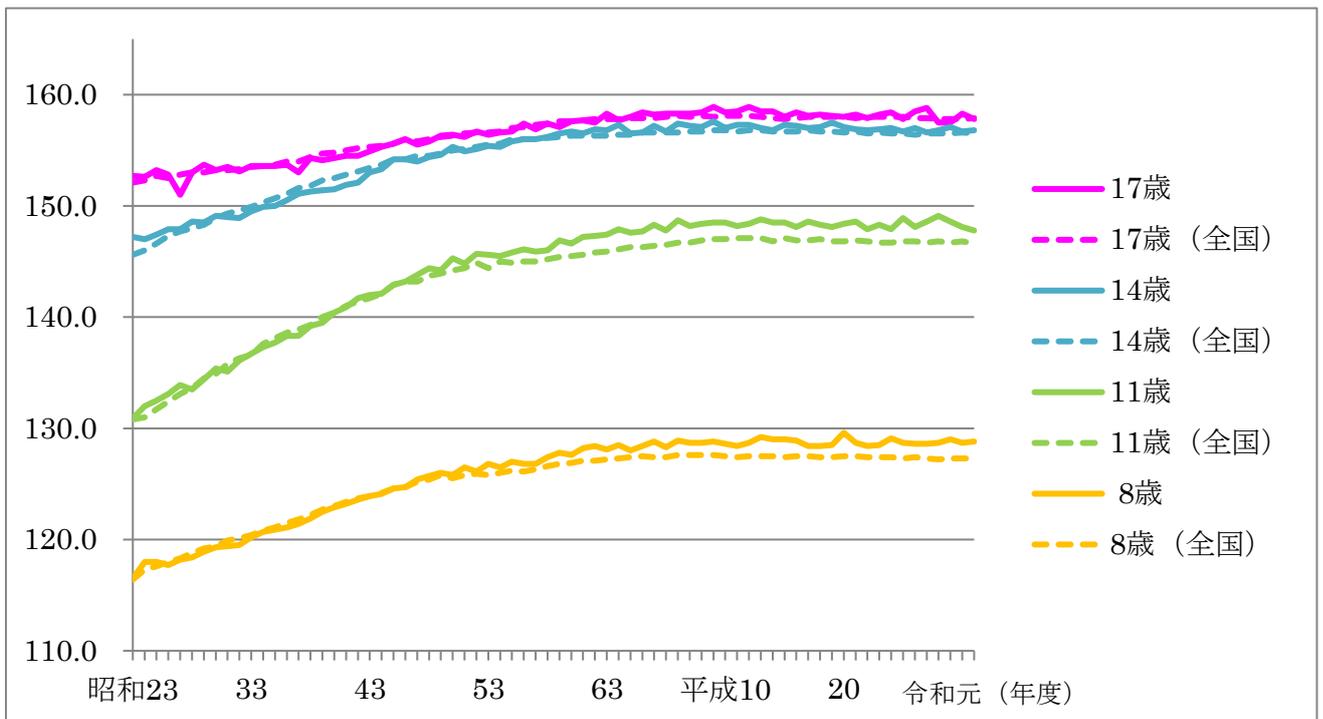
★：全国1位

グラフ2 平均身長推移

〈男〉



〈女〉



(2) 体 重

- ・男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では14歳の3.3kg、女子では12歳の2.1kgとなっている。
- ・男子は6歳、7歳、8歳、9歳、13歳、14歳、17歳、女子は5歳、6歳、8歳、10歳、12歳、14歳、15歳で全国第1位となっている。
- ・年間発育量をみると、男子は13歳から14歳時の6.1kg、女子は11歳から12歳時の4.9kgが最大となっている。

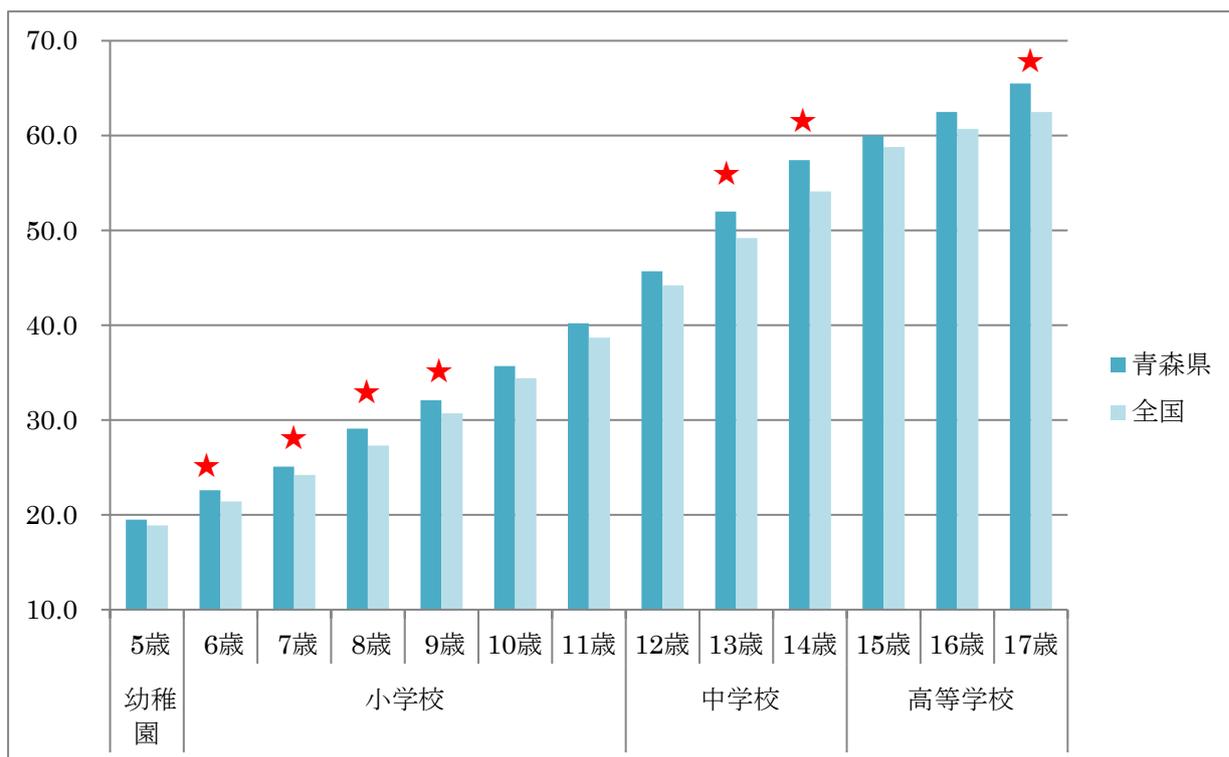
表2 体重の平均値

区 分	年齢	体 重 (kg)									
		青森県 での調 査人数	令和元年度 (青森県) A	平成30年度 (青森県) B	昨年度との 差 A-B	年 間 発育量	令和元年度 (全 国) C	全国との 差 A-C	令和元年度 青森県 順 位	30年度 青森県 順 位	
男	幼稚園	5歳	419	19.5	19.5	0.0	—	18.9	0.6	2	2
	小学校	6歳	452	22.6	21.8	0.8	3.1	21.4	1.2	1	4
		7歳	461	25.1	25.2	-0.1	3.3	24.2	0.9	1	1
		8歳	457	29.1	28.5	0.6	3.9	27.3	1.8	1	3
		9歳	457	32.1	32.6	-0.5	3.6	30.7	1.4	1	1
		10歳	462	35.7	36.1	-0.4	3.1	34.4	1.3	3	2
		11歳	462	40.2	40.5	-0.3	4.1	38.7	1.5	4	3
	中学校	12歳	764	45.7	46.0	-0.3	5.2	44.2	1.5	6	4
		13歳	774	52.0	51.3	0.7	6.0	49.2	2.8	1	3
		14歳	771	57.4	56.8	0.6	6.1	54.1	3.3	1	2
	高等学校	15歳	405	60.0	61.3	-1.3	3.2	58.8	1.2	8	1
		16歳	405	62.5	62.4	0.1	1.2	60.7	1.8	3	3
		17歳	405	65.5	64.8	0.7	3.1	62.5	3.0	1	2
	女	幼稚園	5歳	410	19.4	19.2	0.2	—	18.6	0.8	1
小学校		6歳	455	21.8	21.9	-0.1	2.6	20.9	0.9	1	1
		7歳	460	24.2	24.5	-0.3	2.3	23.5	0.7	2	3
		8歳	453	28.2	27.6	0.6	3.7	26.5	1.7	1	2
		9歳	463	31.5	31.5	0.0	3.9	30.0	1.5	2	2
		10歳	455	36.1	36.3	-0.2	4.6	34.2	1.9	1	1
		11歳	462	40.3	41.0	-0.7	4.0	39.0	1.3	3	1
中学校		12歳	762	45.9	45.4	0.5	4.9	43.8	2.1	1	1
		13歳	752	48.8	49.4	-0.6	3.4	47.3	1.5	3	1
		14歳	762	51.9	51.8	0.1	2.5	50.1	1.8	1	1
高等学校		15歳	405	53.5	52.3	1.2	1.7	51.7	1.8	1	7
		16歳	405	53.5	54.5	-1.0	1.2	52.7	0.8	7	2
		17歳	402	54.1	53.5	0.6	-0.4	53.0	1.1	4	11

(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の3.9kgは、40.2kg (令和元年度の11歳の数値) - 36.3kg (30年度の10歳の数値) で求められる。

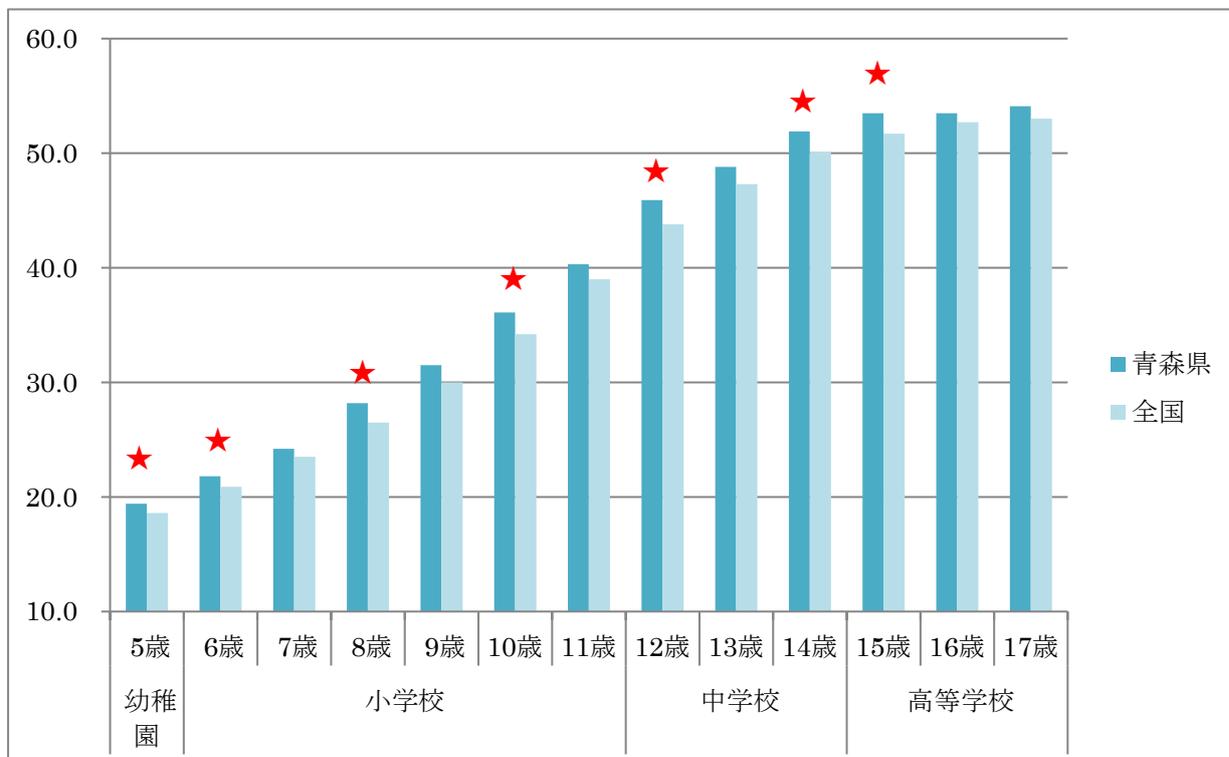
グラフ3 体重の平均値

〈男〉



★ : 全国1位

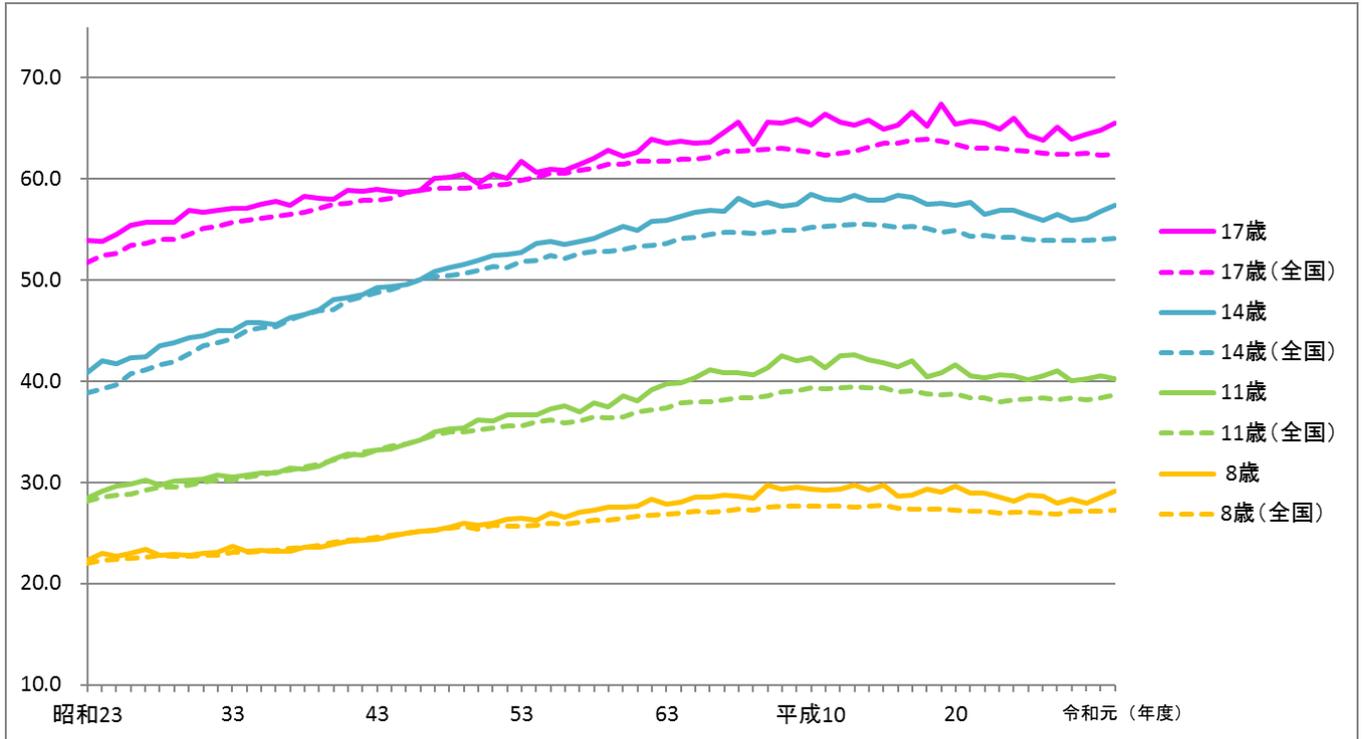
〈女〉



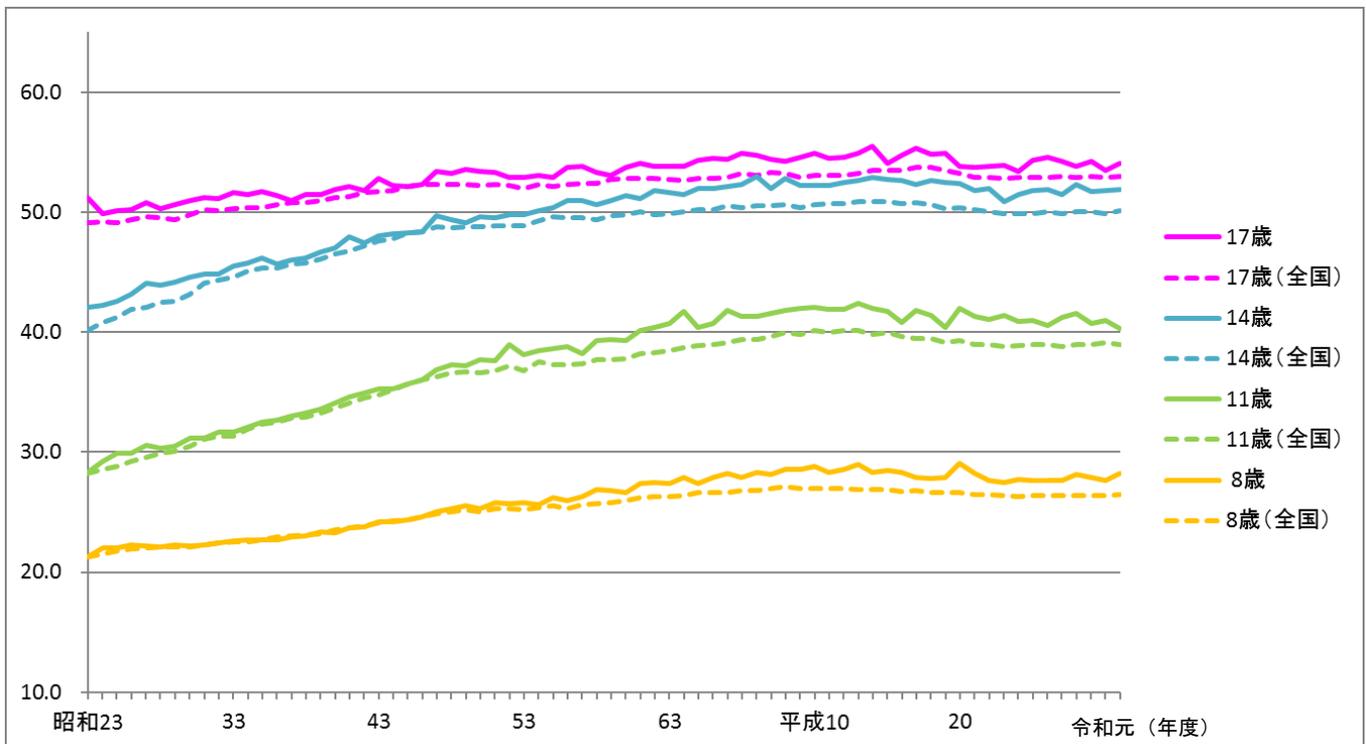
★ : 全国1位

グラフ4 平均体重の推移

〈男〉



〈女〉



(3) 30年前(親の世代)との比較

親の世代である30年前の平成元年度と比較すると、身長・体重のいずれも、大半の年齢で親世代を上回っている。

① 身長

- ・男子では、5歳及び7歳を除いた各年齢で親の世代より高く、世代間の差は1.4歳が最も大きく、1.7cm上回っている。
- ・女子では、5歳、6歳、11歳及び14歳を除いた各年齢で親の世代より高く、世代間の差は1.2歳が最も大きく、1.0cm上回っている。

② 体重

- ・男子では、5歳、7歳、12歳及び15歳を除く各年齢で親の世代より重く、世代間の差は1.7歳が最も大きく、1.8kg上回っている。
- ・女子では、5歳、9歳、11歳、13歳、15歳及び16歳を除く各年齢で親の世代より重いものの、世代間の差は1.1歳が最も大きく、1.4kg下回っている。

表3 30年前の身長・体重の平均値との比較

区分	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)			
		令和元年度	平成元年度	差	令和元年度	平成元年度	差	
		A	B	A-B	C	D	C-D	
男	幼稚園	5歳	111.2	111.7	-0.5	19.5	20.0	-0.5
		6歳	117.8	117.3	0.5	22.6	21.9	0.7
	小学校	7歳	123.4	123.5	-0.1	25.1	25.2	-0.1
		8歳	129.2	128.5	0.7	29.1	28.1	1.0
		9歳	134.2	134.0	0.2	32.1	31.7	0.4
		10歳	140.2	139.5	0.7	35.7	35.5	0.2
		11歳	146.2	145.5	0.7	40.2	39.9	0.3
	中学校	12歳	153.7	152.8	0.9	45.7	45.9	-0.2
		13歳	161.5	160.1	1.4	52.0	51.4	0.6
		14歳	166.7	165.0	1.7	57.4	56.3	1.1
	高等学校	15歳	168.7	168.4	0.3	60.0	60.4	-0.4
		16歳	170.3	170.0	0.3	62.5	62.3	0.2
		17歳	171.0	170.7	0.3	65.5	63.7	1.8
	女	幼稚園	5歳	110.6	111.1	-0.5	19.4	19.6
6歳			116.5	116.7	-0.2	21.8	21.8	0.0
小学校		7歳	122.4	122.1	0.3	24.2	23.9	0.3
		8歳	128.8	128.5	0.3	28.2	27.9	0.3
		9歳	134.6	134.5	0.1	31.5	31.7	-0.2
		10歳	141.8	141.1	0.7	36.1	36.0	0.1
		11歳	147.8	147.9	-0.1	40.3	41.7	-1.4
中学校		12歳	152.8	151.8	1.0	45.9	45.6	0.3
		13歳	155.7	155.3	0.4	48.8	49.5	-0.7
		14歳	156.8	157.3	-0.5	51.9	51.5	0.4
高等学校		15歳	157.6	157.3	0.3	53.5	53.7	-0.2
		16歳	158.5	157.6	0.9	53.5	54.2	-0.7
		17歳	157.8	157.7	0.1	54.1	53.8	0.3

(4) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率は、男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っている。

① 肥満傾向児

- ・男子では、17歳の出現率が17.34%で最も高く、全国値との差は8歳が最も大きく、7.20ポイント上回っている。
- ・女子では、15歳の出現率が13.91%で最も高く、全国値との差では8歳が最も大きく、6.61ポイント上回っている。
- ・男子は6歳、8歳、9歳及び17歳、女子は5歳、6歳、8歳、14歳及び15歳で全国第1位となっている。

② 痩身傾向児

- ・男子では、15歳の出現率が5.22%で最も高く、全国値との差では17歳が最も大きく、2.02ポイント下回っている。
- ・女子では、13歳の出現率が3.41%で最も高く、全国値との差では12歳が最も大きく、1.38ポイント下回っている。

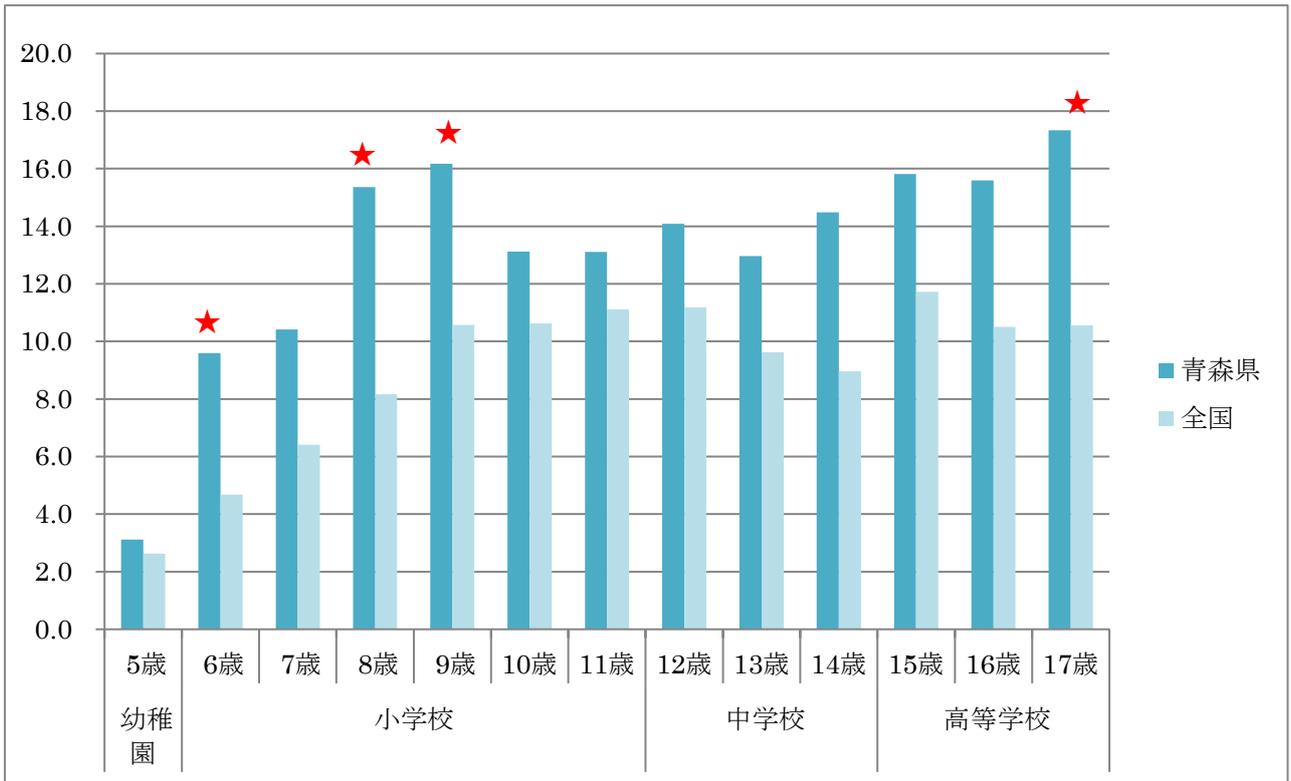
表4 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

区分	年齢	肥満傾向児								痩身傾向児							
		令和元年度 (青森県) A	平成30年度 (青森県) B	昨年度との 差 A-B	令和元年度 (全国) C	全国との 差 A-C	令和元年度 青森県 順位	30年度 青森県 順位	令和元年度 (青森県) D	平成30年度 (青森県) E	昨年度との 差 D-E	令和元年度 (全国) F	全国との 差 D-F	令和元年度 青森県 順位	30年度 青森県 順位		
男	幼稚園	5歳	3.12	3.22	-0.10	2.63	0.49	16	10	0.20	0.11	0.09	0.33	-0.13	26	36	
	小学校	6歳	9.59	6.72	2.87	4.68	4.91	1	10	0.47	0.30	0.17	0.42	0.05	22	23	
		7歳	10.41	9.47	0.94	6.41	4.00	3	2	0.77	0.90	-0.13	0.37	0.40	6	7	
		8歳	15.36	14.16	1.20	8.16	7.20	1	1	1.17	1.38	-0.21	0.73	0.44	8	11	
		9歳	16.17	13.74	2.43	10.57	5.60	1	6	0.37	0.69	-0.32	1.55	-1.18	46	45	
		10歳	13.12	13.14	-0.02	10.63	2.49	10	9	2.99	2.26	0.73	2.61	0.38	14	28	
		11歳	13.11	13.52	-0.41	11.11	2.00	14	9	3.48	3.09	0.39	3.25	0.23	13	23	
	中学校	12歳	14.08	14.88	-0.80	11.18	2.90	7	5	3.24	2.06	1.18	2.99	0.25	15	34	
		13歳	12.96	13.06	-0.10	9.63	3.33	5	3	1.56	1.39	0.17	2.31	-0.75	36	38	
		14歳	14.48	10.86	3.62	8.96	5.52	2	8	1.66	1.02	0.64	2.40	-0.74	35	44	
	高等学校	15歳	15.82	19.80	-3.98	11.72	4.10	3	1	5.22	2.02	3.20	3.60	1.62	2	40	
		16歳	15.59	13.28	2.31	10.50	5.09	3	10	1.61	2.83	-1.22	2.60	-0.99	42	16	
		17歳	17.34	16.32	1.02	10.56	6.78	1	1	0.66	0.86	-0.20	2.68	-2.02	47	46	
	女	幼稚園	5歳	7.28	5.38	1.90	2.93	4.35	1	4	0.40	0.83	-0.43	0.31	0.09	21	7
小学校		6歳	9.51	8.32	1.19	4.33	5.18	1	1	0.60	0.66	-0.06	0.56	0.04	18	17	
		7歳	8.76	8.67	0.09	5.61	3.15	3	4	0.33	0.51	-0.18	0.45	-0.12	32	25	
		8歳	13.49	9.28	4.21	6.88	6.61	1	9	2.12	1.10	1.02	1.09	1.03	2	19	
		9歳	11.29	11.27	0.02	7.85	3.44	6	4	0.38	3.07	-2.69	1.65	-1.27	47	1	
		10歳	12.21	9.64	2.57	8.46	3.75	3	11	2.37	2.73	-0.36	2.71	-0.34	23	12	
		11歳	10.02	12.41	-2.39	8.84	1.18	18	3	1.83	2.61	-0.78	2.67	-0.84	35	22	
中学校		12歳	13.26	11.07	2.19	8.48	4.78	3	11	2.84	2.58	0.26	4.22	-1.38	36	44	
		13歳	9.73	10.64	-0.91	7.88	1.85	15	6	3.41	2.64	0.77	3.56	-0.15	21	38	
		14歳	11.44	12.15	-0.71	7.37	4.07	1	1	2.26	1.90	0.36	2.59	-0.33	24	30	
高等学校		15歳	13.91	7.95	5.96	7.84	6.07	1	28	2.04	1.88	0.16	2.36	-0.32	25	28	
		16歳	8.80	12.06	-3.26	7.30	1.50	10	2	2.43	2.77	-0.34	1.89	0.54	11	7	
		17歳	10.92	8.83	2.09	7.99	2.93	4	21	1.40	1.93	-0.53	1.71	-0.31	29	15	

注： 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。  
 2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。  
 ※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

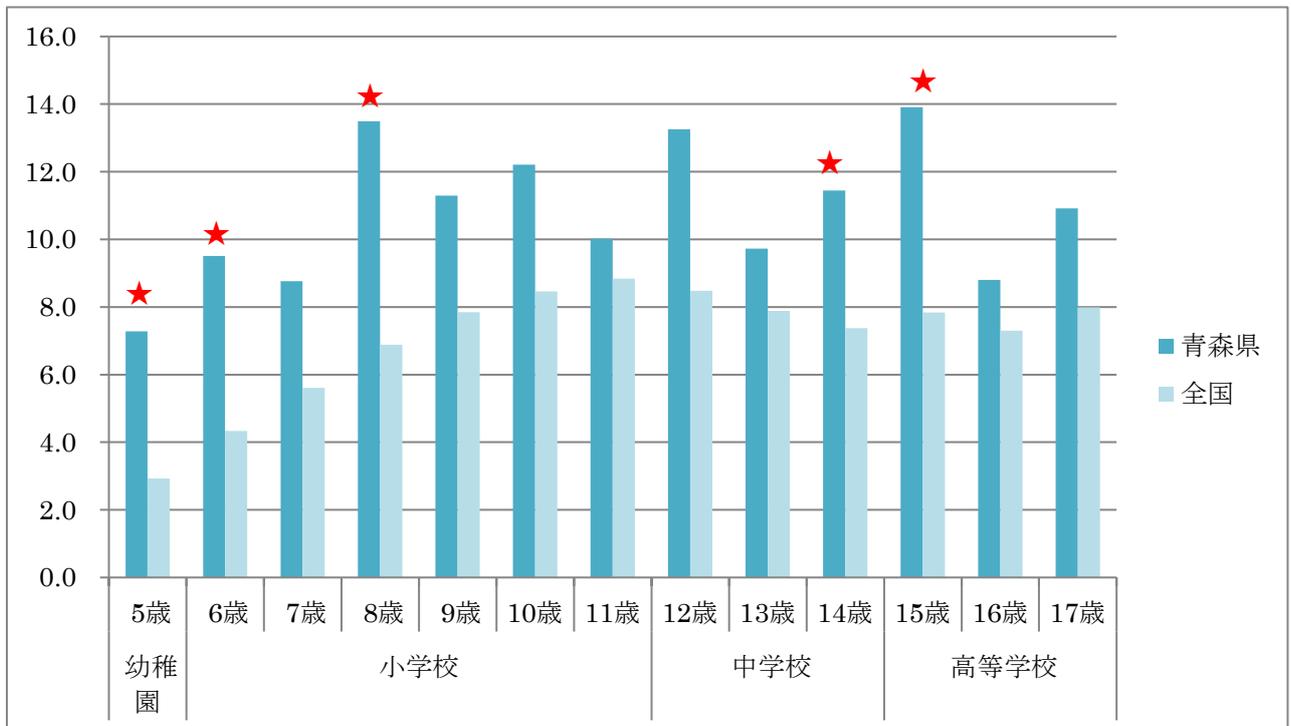
グラフ5 肥満傾向児の出現率

〈男〉



★ : 全国1位

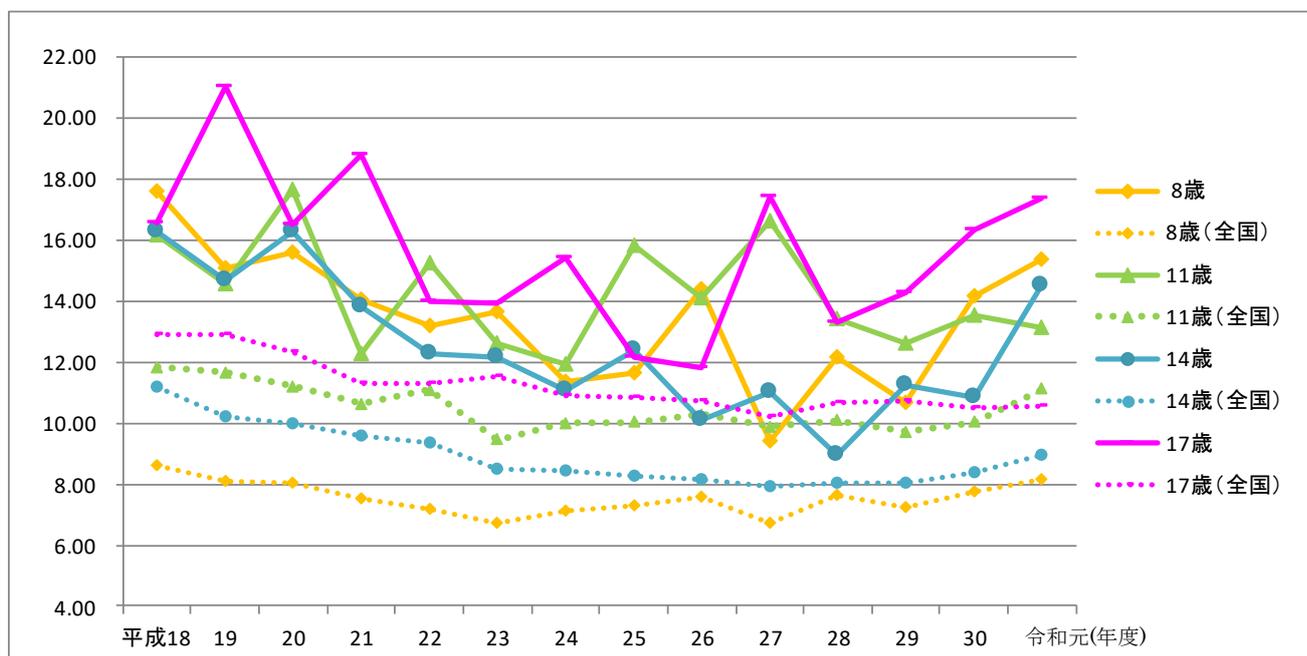
〈女〉



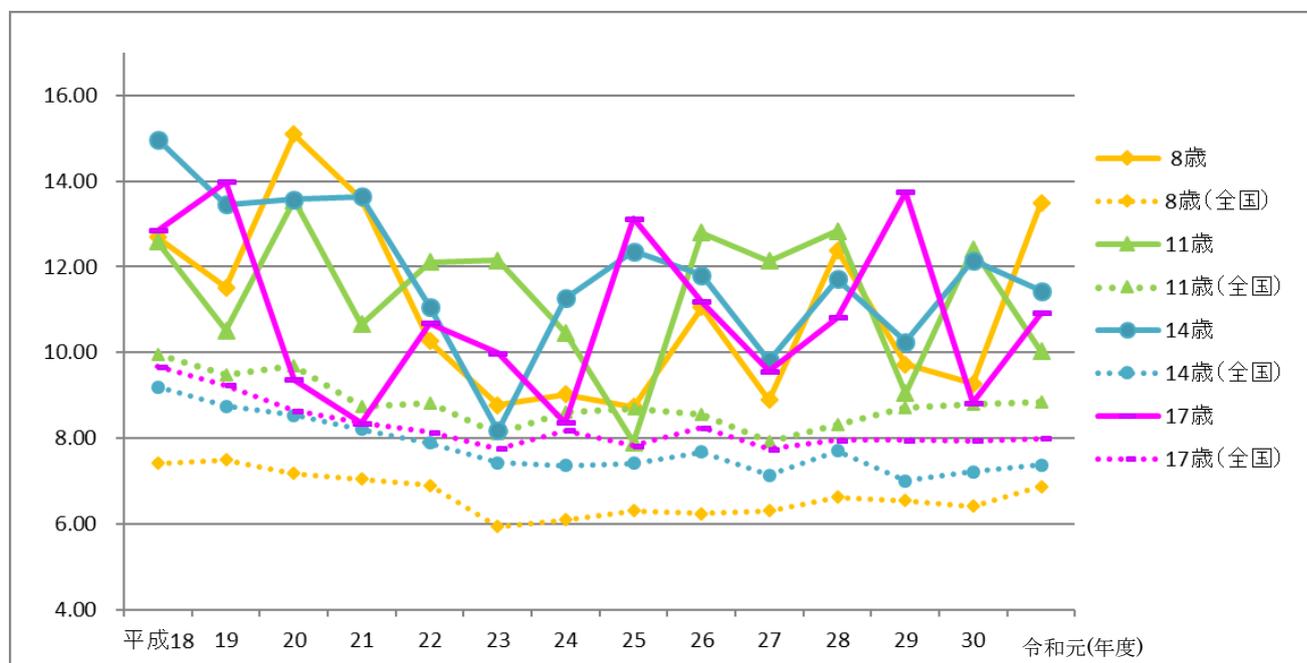
★ : 全国1位

グラフ6 肥満傾向児出現率の推移

〈男〉



〈女〉



## 2 健康状態

健康診断受検者のうち、疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者）の占める割合を学校種別にみると、表5のとおりとなっている。

表5 疾病・異常の被患率等

(単位：%、本)

区 分		幼稚園			小学校			中学校			高等学校		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
裸	計	X	X	X	46.2	43.0	49.4	66.5	61.9	71.2	71.5	67.4	75.8
眼	1.0未満～0.7以上	X	X	X	16.2	16.2	16.3	10.2	11.5	8.8	8.3	8.4	8.1
視	0.7未満～0.3以上	X	X	X	15.9	14.4	17.5	17.4	18.0	16.8	13.0	12.5	13.5
力	0.3未満	X	X	X	14.0	12.5	15.7	38.9	32.4	45.5	50.3	46.5	54.2
眼の疾病・異常		-	-	-	5.7	6.1	5.3	4.0	4.3	3.7	3.4	3.3	3.5
難 聴		…	…	…	0.6	0.4	0.8	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
耳 鼻 咽 頭	耳疾患	5.2	4.7	5.7	5.5	5.7	5.2	4.4	5.6	3.2	0.6	0.7	0.5
	鼻・副鼻腔疾患	0.5	0.6	0.3	15.5	19.3	11.5	16.2	15.9	16.5	5.6	6.6	4.5
	口腔咽喉頭疾患・異常	0.2	-	0.3	0.7	0.9	0.6	0.4	0.1	0.7	0.0	0.0	0.1
歯 ・ 口 腔	計	41.4	45.0	37.7	54.9	57.4	52.4	45.7	44.3	47.2	51.9	51.1	52.8
	むし歯 処置完了者	14.0	15.0	13.0	25.2	25.9	24.5	26.0	24.6	27.3	28.2	26.3	30.3
	むし歯 未処置歯のある者	27.3	30.0	24.6	29.7	31.5	27.9	19.8	19.7	19.9	23.7	24.8	22.5
	歯列・咬合	8.3	10.3	6.3	3.6	3.3	3.9	4.3	3.7	4.8	3.3	2.9	3.8
	顎関節	-	-	-	0.1	0.0	0.1	0.5	0.2	0.8	0.5	0.5	0.6
	歯垢の状態	4.0	X	0.1	2.2	2.6	1.8	5.3	6.9	3.7	3.4	3.9	2.8
	歯肉の状態	4.0	X	-	1.6	1.8	1.5	4.1	5.4	2.9	5.9	5.7	6.0
	その他の疾病・異常	1.0	1.0	0.9	10.2	10.6	9.8	5.0	5.4	4.5	1.2	1.0	1.4
むし歯 の 一 人 当 り 平 均 等 数	永久歯の 喪失歯数(本)	…	…	…	…	…	…	1.1	1.0	1.1	…	…	…
	むし歯 計(本)	…	…	…	…	…	…	1.1	1.0	1.1	…	…	…
	むし歯 処置歯数(本)	…	…	…	…	…	…	0.7	0.6	0.7	…	…	…
	むし歯 未処置歯数(本)	…	…	…	…	…	…	0.4	0.4	0.4	…	…	…
栄 養 状 態		0.1	0.1	0.1	2.9	3.8	2.0	1.1	1.1	1.0	0.7	0.8	0.6
せき柱・胸部・四肢の状態		-	-	-	2.0	1.9	2.1	2.0	1.7	2.3	0.7	0.6	0.9
疾 皮 患 膚	アトピー性皮膚炎	1.9	0.6	3.3	1.4	1.7	1.1	1.1	1.4	0.8	1.1	1.2	1.1
	その他の皮膚疾患	1.9	1.6	2.2	0.5	0.4	0.6	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2
結核の精密検査の対象者		…	…	…	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	…	…	…
結 核		…	…	…	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	0.1
心 臓 の 疾 病 ・ 異 常		0.2	-	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.6	0.3
心 電 図 異 常		…	…	…	2.6	3.0	2.1	2.5	2.7	2.2	1.8	2.1	1.5
蛋 白 検 出 の 者		0.9	…	1.9	0.7	0.5	0.9	1.6	1.6	1.6	3.0	3.6	2.3
尿 糖 検 出 の 者		…	…	…	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.5	0.3
疾 病 ・ 他 の 異 常	ぜん息	4.6	4.6	4.6	1.8	2.1	1.5	0.9	1.0	0.9	1.4	1.6	1.3
	腎臓疾患	-	-	-	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2
	言語障害	-	-	-	0.3	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	-
	その他の疾病・異常	1.7	2.2	1.1	4.4	5.2	3.5	3.2	3.9	2.5	6.5	6.7	6.2

- 注：1. この表は、健康診断受検者のうち疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者）の占める割合の推定値を示したものである。
2. 永久歯の1人当たりの平均むし歯等数については、中学校1年（12歳）のみを調査対象としている。
3. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。

(1) 疾病・異常の被患率等の状況

- ・ 幼稚園及び小学校においては「むし歯（う歯）」の者の割合が最も高く、小学校では次いで「裸眼視力1.0未満の者」の順になっている。
- ・ 中学校及び高等学校においては、「裸眼視力1.0未満の者」の割合が最も高く、次いで「むし歯（う歯）」の順になっている。

表6 疾病・異常の被患率等

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
70%以上～80%未満				裸眼視力1.0未満の者	
60～70			裸眼視力1.0未満の者		
50～60		むし歯（う歯）		むし歯（う歯）	
40～50	むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者	むし歯（う歯）		
30～40					
20～30					
10～20		鼻・副鼻腔疾患 歯・口腔のその他の疾病・異常	鼻・副鼻腔疾患		
1～10	8～10	歯列・咬合			
	6～8				
	4～6	耳疾患 歯垢の状態 歯肉の状態 ぜん息	眼の疾病・異常 耳疾患	眼の疾病・異常 耳疾患 歯列・咬合 歯垢の状態 歯肉の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常	鼻・副鼻腔疾患 歯肉の状態
	2～4		歯列・咬合 歯垢の状態 栄養状態 せき柱・胸部・四肢の状態 心電図異常	せき柱・胸部・四肢の状態 心電図異常	眼の疾病・異常 歯列・咬合 歯垢の状態 蛋白検出の者
	1～2	歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 その他の皮膚疾患	歯肉の状態 アトピー性皮膚炎 ぜん息	栄養状態 アトピー性皮膚炎 蛋白検出の者	歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 心電図異常 ぜん息
0.1～1	0.5～1	鼻・副鼻腔疾患 蛋白検出の者	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 その他の皮膚疾患 蛋白検出の者	顎関節 ぜん息	耳疾患 顎関節 栄養状態 せき柱・胸部・四肢の状態
	0.1～0.5	口腔咽喉頭疾患・異常 栄養状態 心臓の疾病・異常	顎関節 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	難聴 その他の皮膚疾患 結核 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患
0.1%未満				口腔咽喉頭疾患・異常 言語障害	

注：1. この表は、健康診断受検者のうち疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者）の占める割合の推定値を示したものである。

2. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、扁桃肥大、咽喉炎、喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常のある者等である。
3. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石、癒合歯、要注意乳歯等のある者等である。
4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
5. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
6. 「蛋白検出の者」とは、尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出（陽性（+以上）又は擬陽性（±）と判定）された者である。
7. 「尿糖検出の者」とは、尿検査のうち、糖第1次検査の結果、尿中に糖が検出（陽性（+以上）と判定）された者である。

(2) 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等の主なものの推移は、表7のとおりとなっている。

- ① 裸眼視力1.0未満の者
  - ・裸眼視力1.0未満の者は、幼稚園を除いて、全国平均を上回っている。
  - ・10年前と比較すると、小学校において、その割合は増加している。
- ② むし歯（う歯）
  - ・むし歯の被患率（治療済みを含む）は、全学校区分で全国平均を上回っている。
  - ・10年前と比較すると、全学校区分で、その割合は低下している。

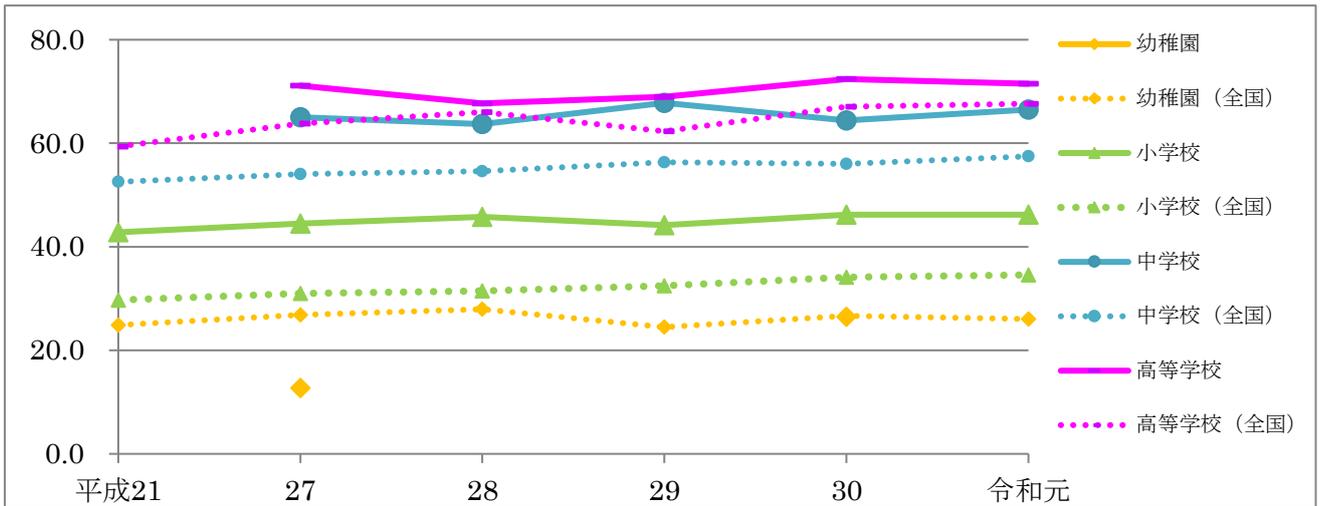
表7 主な疾病・異常等の推移

(単位：%)

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳 疾 患	疾 鼻 ・ 副 鼻 患 腔	疾 口 腔 ・ 咽 喉 頭 異 常	（む う し 歯 ） 歯	皮 ア ト 膚 ピ ー 炎 性	心 電 図 異 常	の 蛋 白 検 者 出	ぜ ん 息
幼 稚 園	青森県 平成21年度	X	7.5	X	2.2	60.5	1.1	…	-	0.6
	青森県 平成27年度	12.7	2.5	2.2	1.8	46.3	2.0	…	-	1.2
	青森県 平成28年度	X	-	1.7	0.4	50.5	1.4	…	-	0.8
	青森県 平成29年度	X	2.1	1.7	0.7	56.8	1.3	…	1.6	2.0
	青森県 平成30年度	26.5	0.6	2.0	0.8	46.2	2.3	…	0	1.5
	<b>青森県 令和元年度</b>	<b>X</b>	<b>5.2</b>	<b>0.5</b>	<b>0.2</b>	<b>41.4</b>	<b>1.9</b>	<b>…</b>	<b>0.9</b>	<b>4.6</b>
	<b>全 国 令和元年度</b>	<b>26.1</b>	<b>2.6</b>	<b>3.2</b>	<b>1.5</b>	<b>31.2</b>	<b>2.3</b>	<b>…</b>	<b>1.0</b>	<b>1.8</b>
小 学 校	青森県 平成21年度	42.8	5.0	16.8	1.0	71.6	1.7	1.5	0.6	2.4
	青森県 平成27年度	44.5	7.4	18.4	1.1	60.8	1.3	2.5	0.8	1.7
	青森県 平成28年度	45.8	5.7	19.1	1.4	62.4	1.3	2.0	1.1	1.9
	青森県 平成29年度	44.2	4.9	16.3	1.0	60.2	1.7	1.3	1.1	2.1
	青森県 平成30年度	46.2	5.6	20.4	1.6	57.5	2.2	1.5	0.6	2.4
	<b>青森県 令和元年度</b>	<b>46.2</b>	<b>5.5</b>	<b>15.5</b>	<b>0.7</b>	<b>54.9</b>	<b>1.4</b>	<b>2.6</b>	<b>0.7</b>	<b>1.8</b>
	<b>全 国 令和元年度</b>	<b>34.6</b>	<b>6.3</b>	<b>11.8</b>	<b>1.3</b>	<b>44.8</b>	<b>3.3</b>	<b>2.4</b>	<b>1.0</b>	<b>3.4</b>
中 学 校	青森県 平成21年度	X	4.1	14.9	0.4	64.9	1.3	2.1	1.2	1.0
	青森県 平成27年度	65.0	3.3	13.8	0.3	49.7	1.1	2.5	2.1	1.1
	青森県 平成28年度	63.7	3.7	12.5	0.5	49.5	1.3	1.8	2.6	0.9
	青森県 平成29年度	67.8	4.8	17.8	1.0	49.2	1.2	2.1	2.7	1.4
	青森県 平成30年度	64.4	4.4	17.5	0.4	45.7	1.3	1.9	2.4	1.4
	<b>青森県 令和元年度</b>	<b>66.5</b>	<b>4.4</b>	<b>16.2</b>	<b>0.4</b>	<b>45.7</b>	<b>1.1</b>	<b>2.5</b>	<b>1.6</b>	<b>0.9</b>
	<b>全 国 令和元年度</b>	<b>57.5</b>	<b>4.7</b>	<b>12.1</b>	<b>0.7</b>	<b>34.0</b>	<b>2.9</b>	<b>3.3</b>	<b>3.4</b>	<b>2.6</b>
高 等 学 校	青森県 平成21年度	X	2.0	12.2	0.7	73.4	0.8	1.6	1.7	0.8
	青森県 平成27年度	71.1	2.1	5.7	0.5	56.4	1.2	1.1	2.0	1.0
	青森県 平成28年度	67.7	5.1	17.1	0.1	60.8	1.1	2.1	2.2	0.8
	青森県 平成29年度	69.0	3.9	15.7	0.1	59.9	1.0	2.0	2.9	1.0
	青森県 平成30年度	72.4	2.2	10.8	0.1	57.4	1.3	1.9	3.1	1.0
	<b>青森県 令和元年度</b>	<b>71.5</b>	<b>0.6</b>	<b>5.6</b>	<b>0.0</b>	<b>51.9</b>	<b>1.1</b>	<b>1.8</b>	<b>3.0</b>	<b>1.4</b>
	<b>全 国 令和元年度</b>	<b>67.6</b>	<b>2.9</b>	<b>9.9</b>	<b>0.5</b>	<b>43.7</b>	<b>2.4</b>	<b>3.3</b>	<b>3.4</b>	<b>1.8</b>

注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。  
 2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。  
 3. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。

グラフ7 裸眼視力1.0未満の者の推移



グラフ8 むし歯(う歯)の者の割合の推移

